

第3回
芸術の森

 教えて!!

学芸員のおしごと

学芸員とは、美術館や科学館、博物館などで、専門的な資格を持って資料の収集や研究に当たる職員のこと。
しかし、業務はそれだけにとどまらず、実にさまざまです。
このコーナーでは、札幌で活躍する学芸員さんに、自らの仕事について紹介してもらいます。



芸術の森とは

自然豊かな約40%の敷地に、屋外に彫刻を展示する野外美術館をはじめ、展覧会を行う芸術の森美術館、陶芸などの体験が気軽にできるクラフト工房などの施設が点在しています。

作品を1cm単位でずらしたり、角度をほんの少し変えてみたり、作家本人と納得いくまで試行錯誤を続けるため、夜遅くなることもしばしばですね。



1 展覧会をつくり上げる

芸術の森美術館で開催する展覧会をどんな内容のものにするか考え、作品を集めたり、展示プランを練ったり、展覧会カタログを編集したりと、展覧会に関するすべての業務を担当します。その中でも最大のヤマ場は作品の展示。作品の持つ魅力を最大限に引き出すために、展示方法には特に力を入れ、毎回趣向を凝らしています。

2 万全な管理で作品を保存

温度22度、湿度55%に保たれた収蔵庫で、約1,000点の作品を保管しています。作品を傷めないように紫外線をカットした特殊な蛍光灯を設置しているほか、湿気を吸収・放出できるように壁と床に木材を使っています。また、作品を柔らかい布で壁にくくりつけて倒れないようにしており、地震への備えも万全です。

ほこりは作品を傷めるため、まず外靴からスリッパに履き替え、さらに裏のほこりを粘着マットで取り除いてから入室するんです。



野外美術館の中を歩いて作品の状態を確認しています。自然の中で作品を楽しんでいただくことと、美しく保つことの両立は、なかなか難しいんです。

作品: 福田繁雄「椅子になって休もう」

3 野外美術館の作品を守る

73点ある屋外の作品は、収蔵庫に保管されている作品とは異なり、常に風雨にさらされ、とても傷みやすいため、毎年数点は補修しなければなりません。汚れや破損がないか、日ごろから気に掛かっています。

3

行ってみよう! 芸術の森

開園時間 午前9時45分～午後5時 休園日 11月3日(祝)までは無休
電話番号 592-5111 ※所在地、交通機関、地図などは5ページをご覧ください